

「子宮内膜症に対する低用量ピルが、血管内皮機能や血管炎症マーカーに及ぼす影響についての検討」に参加された患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	FSH 値と活性を比較する検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属)産婦人科学講座 (職名)教授 (氏名)若槻明彦
研究の対象となる方	平成23年6月から平成25年3月までに「子宮内膜症に対する低用量ピルが、血管内皮機能や血管炎症マーカーに及ぼす影響についての検討」(受付番号11-019)に参加された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2024年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的] 周閉経期における FSH(卵巣刺激ホルモン)値は、血中エストロゲン低下により上昇します。E2 (エストラジオール) 値: 20pg/ml 以下. FSH 値: 40mIU/ml 以上が閉経の診断とされていますが、一概に診断できないことが多いです。最近の報告では、FSH 値が 70mIU/ml を超えると閉経との報告もありますが、実臨床では、必ずしも一致しないことが多いです。今回の研究で、FSH 値と、FSH 活性を比較検討することにより、新たな閉経の診断を補助する指標を作成する試みを行います。</p> <p>[利用方法] すでに採血および他研究で検討の済んだ、残血清を用いて、FSH 値と活性を比較検討する。すでに判明している E2 値との相関を検討します。</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>試料・情報は個人が特定できないようにし、郵送により共同研究機関へ提供します。</p> <p>[外部への提供開始日]</p> <p>研究実施承認後</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料: 診療時の残余血液を使用 情報: 診療録から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、手術所見等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	ヤマサ醤油株式会社 診断事業部 診断事業部長 松山健二

試料・情報を利用する学外の者	ヤマサ醤油株式会社 診断事業部 診断事業部長 松山健二
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年2月29日までに 郵送, 窓口での受付, 電話等 により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 産婦人科学講座 担当者：(職名) 教授 (特任) (氏名) 篠原康一 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22153)

「子宮内膜症に対するジェノゲストが、血管内皮機能やや血管炎症マーカーに及ぼす影響についての検討」に参加された患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	FSH 値と活性を比較する検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属)産婦人科学講座 (職名)教授 (氏名)若槻明彦
研究の対象となる方	平成21年1月から平成23年4月までに「子宮内膜症に対するジェノゲストが、血管内皮機能やや血管炎症マーカーに及ぼす影響についての検討」(受付番号609)に参加された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2024年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的] 周閉経期における FSH(卵巣刺激ホルモン)値は、血中エストロゲン低下により上昇します。E2 (エストラジオール) 値: 20pg/ml 以下. FSH 値: 40mIU/ml 以上が閉経の診断とされていますが、一概に診断できないことが多いです。最近の報告では、FSH 値が 70mIU/ml を超えると閉経との報告もありますが、実臨床では、必ずしも一致しないことが多いです。今回の研究で、FSH 値と、FSH 活性を比較検討することにより、新たな閉経の診断を補助する指標を作成する試みを行います。</p> <p>[利用方法] すでに採血および他研究で検討の済んだ、残血清を用いて、FSH 値と活性を比較検討する。すでに判明している E2 値との相関を検討します。</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>試料・情報は個人が特定できないようにし、郵送により共同研究機関へ提供します。</p> <p>[外部への提供開始日]</p> <p>研究実施承認後</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料: 診療時の残余血液を使用 情報: 診療録から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、手術所見等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	ヤマサ醤油株式会社 診断事業部 診断事業部長 松山健二

試料・情報を利用する学外の者	ヤマサ醤油株式会社 診断事業部 診断事業部長 松山健二
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年2月29日までに 郵送, 窓口での受付, 電話等 により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 産婦人科学講座 担当者：(職名) 教授 (特任) (氏名) 篠原康一 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22153)

「閉経後のエストロゲン併用療法に併用する黄体ホルモン製剤が、脂質・血管内皮機能や血管炎症マーカーに及ぼす影響についての検討—酢酸メドロキシプロゲステロンとノルエチステロンの比較検討」に参加された患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	FSH 値と活性を比較する検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属)産婦人科学講座 (職名)教授 (氏名)若槻明彦
研究の対象となる方	平成21年2月から平成23年4月までに「閉経後のエストロゲン併用療法に併用する黄体ホルモン製剤が、脂質・血管内皮機能や血管炎症マーカーに及ぼす影響についての検討—酢酸メドロキシプロゲステロンとノルエチステロンの比較検討」(受付番号 623)に参加された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2024年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕周閉経期における FSH(卵巣刺激ホルモン)値は、血中エストロゲン低下により上昇します。E2(エストラジオール)値:20pg/ml 以下、FSH 値:40mIU/ml 以上が閉経の診断とされていますが、一概に診断できないことが多いです。最近の報告では、FSH 値が70mIU/ml を超えると閉経との報告もありますが、実臨床では、必ずしも一致しないことが多いです。今回の研究で、FSH 値と、FSH 活性を比較検討することにより、新たな閉経の診断を補助する指標を作成する試みを行います。</p> <p>〔利用方法〕すでに採血および他研究で検討の済んだ、残血清を用いて、FSH 値と活性を比較検討する。すでに判明している E2 値との相関を検討します。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕 試料・情報は個人が特定できないようにし、郵送により共同研究機関へ提供します。</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>研究実施承認後</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料:診療時の残余血液を使用 情報:診療録から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、手術所見等を収集
提供する試料・情報	ヤマサ醤油株式会社 診断事業部 診断事業部長 松山健二

を用いる学外の研究責任者	
試料・情報を利用する学外の者	ヤマサ醤油株式会社 診断事業部 診断事業部長 松山健二
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年2月29日までに 郵送 、 窓口での受付 、 電話等 により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 産婦人科学講座 担当者：(職名) 教授 (特任) (氏名) 篠原康一 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22153)

「閉経後女性におけるエストロゲン併用療法の種類や投与ルートが、脂質・血管内皮機能や血管炎症マーカーに及ぼす影響についての検討」に参加された患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	FSH 値と活性を比較する検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属)産婦人科学講座 (職名)教授 (氏名)若槻明彦
研究の対象となる方	平成 21 年 2 月から平成 23 年 4 月までに「閉経後女性におけるエストロゲン併用療法の種類や投与ルートが、脂質・血管内皮機能や血管炎症マーカーに及ぼす影響についての検討」(受付番号 624)に参加された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2024 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的] 周閉経期における FSH(卵胞刺激ホルモン)値は、血中エストロゲン低下により上昇します。E2 (エストラジオール) 値: 20pg/ml 以下。FSH 値: 40mIU/ml 以上が閉経の診断とされていますが、一概に診断できないことが多いです。最近の報告では、FSH 値が 70mIU/ml を超えると閉経との報告もありますが、実臨床では、必ずしも一致しないことが多いです。今回の研究で、FSH 値と、FSH 活性を比較検討することにより、新たな閉経の診断を補助する指標を作成する試みを行います。</p> <p>[利用方法] すでに採血および他研究で検討の済んだ、残血清を用いて、FSH 値と活性を比較検討する。すでに判明している E2 値との相関を検討します。</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>試料・情報は個人が特定できないようにし、郵送により共同研究機関へ提供します。</p> <p>[外部への提供開始日]</p> <p>研究実施承認後</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料: 診療時の残余血液を使用 情報: 診療録から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、手術所見等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究	ヤマサ醤油株式会社 診断事業部 診断事業部長 松山健二

責任者	
試料・情報を利用する学外の者	ヤマサ醤油株式会社 診断事業部 診断事業部長 松山健二
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年2月29日までに 郵送, 窓口での受付, 電話等 により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 産婦人科学講座 担当者：(職名) 教授 (特任) (氏名) 篠原康一 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22153)